

深層リポート

秋篠宮天皇論「雅子さま不要論」の渦中、双子の妹・節子さんもスイスから帰国で異例のサポート体制

# 雅子妃の女官に妹・礼子さん「皇太子の決断」で新展開

ベトナム同伴断念

スッチーと不倫キャリアばかりではない！警察庁エリートにも物騒な話

旅行

もうひとりの

2009 FEB. 2.13

木南晴夏「20世紀少年」第2章で注目

平成21年2月13日発行 毎週1冊出版(日発行)  
発行所 講談社 東京都千代田区  
印刷所 講談社印刷局 東京都千代田区  
印刷日 2009年2月11日 第1刷刷部約10万部

350yen

怒れ！  
預金者たち

## 郵政リファーマー 法人天下り 500人の厚顔

大暴落「銀行保有株」を政府保証で買い取り！なぜそんなことを主要行トップたちで決められるのか  
メガバンク「血税20兆円」再投入で高給維持計画を暴く！  
民営化後も「ゆうちょ」かんぽ「寄生」で300兆円喰い！そして「宿売却」で新旧利権戦争が勃発

それでも高級官僚たち



熱血対論90分

「バツ1」「バツ2」の女闘士が男社会にエール  
小池百合子 VS 勝間和代  
オバマ夫人とヒラリーの秘密  
日本の歌舞伎政治と子供のサッカー経営ではダメだ

- 「うそつき帰国」のウラ 朝青龍「ちゃんこビジネス」とタミル夫人との離婚「土俵際」
- ポロ儲け20億円の使い途 漢字長者「検定協会」理事長の「超豪華御殿」を発見！
- 「孤独なる1000日戦争」に悲劇 有名塾「外人部隊」投入で 中学受験「小さな戦士」たちの涙
- 米国「スパコン戦略」、スイス「完全備蓄」… 新型インフルエンザ「日本だけ」パンデミック対策なしの恐怖

感染症発

「健康力」「仕事力」はこうしてアップ  
男性ホルモンで「寿命」「うつ」「ボケ」が決まる！  
40・50代ビジネスマン必読

実は「ジジ殺し」だという仕事の中身とは

# 沢尻エリカ夫「23か国ラブ漫遊を可能にする不思議な資金源」

「ハイパーメディアクリエイター」って何だ？

女優・沢尻エリカ（22）との結婚で広く顔が知られるようになった高城剛氏（44）。この新郎がどんな仕事をし、どれほどの収入を得ているのかは謎に包まれている。「ハイパーメディアクリエイター」なるこの男、いったい何者？

高城氏は沢尻との交際期間中、06年3月のトルコを皮切りに、3年間で23か国108か所も旅行していたことを自身のブログで明かしている。

「彼は、東京、沖縄、札幌、ロンドンの4か所に拠点があり、東京とロンドンには賃貸。家賃は東京が月45万円、ロンドンが60万円ほどだそうです。ここ数年は1年の3分の1をロンドン、残る3分の2を日本も含めた各国を転々とする生活です」

（高城氏の知人）  
昨年8月下旬〜9月上旬



には、ロンドンに始まり、スペイン・イビサ、東京、札幌、モスクワ、バンコク、石垣島、アイルランド・ダブリンなど、約2週間で50か所を訪問していた。

昨年1月、本誌は高城氏と沢尻のロンドン旅行を報じたが、2人が搭乗したのはビジネスクラス。この2週間の旅行がすべてビジネス利用だったとすれば、交通費の総額は1人当たり200万円は下らない。

ちなみに高城氏は、昨年8月1日、ロシア・アルタイ共和国滞在中に皆既日食を見ながら沢尻にプロポーズ。2人の愛は23か国漫遊中に育まれたようだ。

こんな贅沢を可能にする「ハイパーメディアクリエイター」とはどんな仕事か。高城氏はDJ、国の審議

会委員など、いくつもの

「顔」を持つが、中心的な仕事は映像制作。08年に手掛けた作品の中で有名なのは、昨年11〜12月にかけてニューヨークの駅舎に飾られた「ハイテククリスマスツリー」の映像と、3月に行なわれた「X JAPAN復活ライブ」の映像だ。

「ハイテククリスマスツリー」は、液晶テレビ43台を積み上げて高さ約8メートルに模し、画面に雪の結晶や滝など20種類の鮮やかな映像を流した。

「X JAPAN復活ライブ」では、ギター担当の故・hideの3D映像を制作し、他のメンバーと共演しているかのように見せた。過去にはソニーのロボット犬「AIBO」、ナイキ『エアマックス』などのPR映像作品を手掛けている。高城氏と共同制作したことがある映像制作会社社長が語る。

「最近では、自らCG画像を作ることは少なく、監督の立場にいる。映像制作をスタッフに指示し、出来上

がった試作品に「この部分をもう少し明るく」などと細かなチェックを入れ、自分が納得できるまでやり直させる。その繰り返しで最終的な作品を仕上げている」

「X JAPAN」のライブの制作費25億円のうち、3D映像の費用は1億5000万円と報じられている。「高城氏の会社がほぼその金額で受注し、そこからコストを差し引いた分が高城氏の報酬になっているはず」（前出・制作会社社長）

高城氏の仕事を主に受注していると思われるのが、高城氏が社長の「高城剛事務所」と昨年6月まで社長を務めていた「フューチャー・パイレーツ」の2社。いずれも映像制作が主業務だ。

民間調査会社によれば、前者は従業員1人で、売り上げは06年3月期から08年3月期までいずれも1800万円。後者は従業員5人で、05年3月期の売り上げが4億3000万円、06年が2億506万円、07年が8億円となっている。

「スコイ才能」らしいけど……（高城氏）

「フ社の06年の役員報酬は1800万円ほどとされていますが、常勤役員は2人しかいないので、社長の報酬は3分の2の約1200万円程度と推測されます」（税理士・落合孝裕氏）

と、肩すかしの金額。映像制作と並ぶ大きな「収入源」といわれているのが、大手企業の顧問やアドバイザーの仕事だ。こちらはどうか。

「AIBO以後も数々の製品開発プロジェクトでご意見をいただいています」（ソニー広報センター）

高城氏の公式ファンサイトによれば、顧問を務める企業は数十社。顧問料は明かされていないが、クリエイティブ職専門の人材マネジメント会社社長が分析する。「各社の商品開発や宣伝戦略を見る立場なら、顧問料は通常なら月額10万〜30万円程度。高城さんのように実績がある人なら、月額100万円程度の報酬が出ていてもおかしくない」

高城氏が引つ張りだこの理由には「営業マン」とし

ての手腕があるんだとか。「彼はプレゼンの場で、これからの時代はエコですよ！」（試作品を手にして）これに触ってもらえば良さ

がわかるはずですが、などと矢継ぎ早に訴えかける。企業の役員たちは、心底楽しそうに話す彼の姿を見て、なぜか引き込まれてしまう。

## ボロ儲け20億円の使い途

# 漢字長者 検定協会の理事長の超豪華御殿を発見!

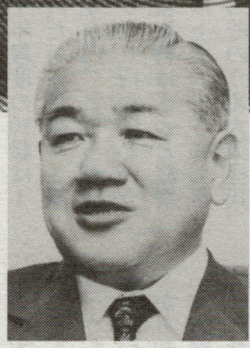
京都桂離宮に程近いタイル貼りの白亜の館のほかに、別宅が2つ。家族経営企業にカネが流れて……

麻生首相が「みぞうゆう」といった「未曾有」の読みは「漢字能力検定」（漢検）で出題されれば「準1級」

のが、漢検を行なっている当の財団法人・日本漢字能力検定協会の大久保昇理事長（73）なのだ。



6つの監視カメラが睨む（左は大久保理事長）



京都市内の西を流れる桂川沿いに、江戸時代の皇族・八条宮家の手で造られた日本屈指の名園、「桂離宮」はある。ここから程近い閑静な住宅街に、その「御殿」は建っていた。

近隣の日本家屋とは趣を異にした3階建て、白亜を思わせる白いタイル貼りに大きなアーチ型の窓をいく

彼の妻のところはこうした「ジジ殺し」の部分でしょう」（高城氏と親しい企業関係者）

もつとも、これだけの収入で海外を飛び回る生活ができるとは思えないのだが……。本誌の取材に対し、高城剛事務所からの回答はなかった。

沢尻は今年9月まで女優業を休む予定。夫の稼ぎでその埋め合わせはできるのか。

つも配した洋館風。土地面積203平方メートル、床面積296平方メートル、地場の不動産業者によれば「1億5000万円は超す」と見られる邸宅こそ、「漢検協会」理事長、大久保氏の自宅だった。

同協会は03年に、「資料館として使用する」という名目で同市内に6億円で土地・建物を買ったことが明らかになっているが、こちらは「大久保家」の個人名義のものである。

大久保氏がそれまで住んでいた自宅を「別宅」として空き家にしたまま、ここ